

キャラクター名
飯綱 洋二 (Iidsuna Youji)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	骨董屋店主	
	モルフェウス						
オプショナル			年齢	36歳	性別	男性	
覚醒	無知	衝動	自傷		初期侵食率	34 %	
出自	待ち望まれた子		経験	力の暴走		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話		
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃	射撃	4r+4	-	5		名も無き拳銃。ハンドレッドガンズにより取得。
早廃至死の装具	射撃	4r+4	-	5		ハンドレッドガンズ+C+ライトウェイトモード。攻撃対象のリアクションダイス-5。
新生早廃の装具	射撃	9r+4	-	5		ハンドレッドガンズ+C+ライトウェイトモード+創造の御手。攻撃対象のリアクションダイス-5。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
コネ:情報屋	
防弾防刃ジャケット	
抗レネゲイド弾	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
霧谷 雄吾 (NPC)	P 尊敬	N 嫉妬		
両親	P 幸福感	N 疎外感		
ヴェアウルフ	P 執着	N 憎悪		
南 阿弥	P 信頼	N 不安		
風音 静流	P 庇護	N 憐憫		
カゲロウ	P 尊敬	N 脅威		
アノフィールズ	P 執着	N 嫌悪		

最大財産P: 6 残り財産P: 10

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 自身のクリティカル値-2								
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: 射撃戦用武器を作成し装備する。								
創造の御手	3	3	メジャー/リアクション	-	-	-	ピュア	
効果: 1シナリオにLv回、組み合わせた判定のダイス+5。								
ライトウェイトモード	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた攻撃に対するリアクション判定のダイス-Lv個。								
砂の加護	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 1Rに1回、味方単体の判定ダイス+Lv個。								
黄金錬成	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常備化ポイントLv×10、侵食基本値+3。								
サイコメトリー	1	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: すべての<情報>判定と組み合わせ、ダイスをLv+2個する。								
テクスチャーチェンジ	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 機能を維持したまま物品の外見を変容させる。見破る為には<知覚>による対決が必要。								
万能器具	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: その場にある物質で日用品を作り出す。場合によっては<RC>による判定が必要。								

黒髪を無造作に結えた30代の男。UGNエージェントのひとり。飄々とした態度、適当な言動が目立つものの、人間としての芯は律儀でマメな性格をしている。ピュアブリードのモルフェウス。愛煙家。基本的には手に持った煙草の吸い殻や空箱、灰等を無銘の拳銃に変換し戦闘に臨むことが多い。

能力の発現は高校生の頃であり、レネゲイドウィルスが世界に拡散し始めた時期と重なる。当初、「プラモデルを作ったつもりが規格外の別モノとして出来上がっている」、「いつの間にか探していた小道具が手元にあり、新たに数が増えている」といった日常の中の違和感というかたちで能力が発現していた為、本人含め彼の両親も、飯綱洋二という人間がオーヴァードと呼ばれる存在になっていたことに気付かず日常を過ごしていた。彼と彼の両親が明確に異変に気付くことが出来たのは、ひょんなことから彼が金を錬成してしまった瞬間があった為であった。我が子の異変に驚いた両親にその後事態を掴んだUGNエージェントが接触、まだ子供であった彼が力の使い方を誤ったりFHに狙われたりしないよう両親と彼本人、そしてUGN双方の合意を以って、とある支部施設にて一旦保護されることとなる。しかし保護・指導中に誤って力を暴走させてしまい、施設の全壊事故を引き起こす。幸いにして死者こそ出なかったものの、黎明期のUGNにとっては大きな組織的損失の生じる結果となった。この件は本人にとってもトラウマとなり、その後の2年ほどを保護・観察対象として厳重な監視体制の下で過ごすこととなるが、その後他のオーヴァードとの対話を重ねることによって能力の制御の手掛かりを得る。観察対象から外れた後は、UGN側と「自身が与えた損害を返済するまで組織の駒となる」という契約を交わし、エージェントのひとりとなった。古参メンバーではあるものの、基本的にアウトサイダーな立ち位置を貫いており、支部長のように重要なポジションに就くことを避けてきた。彼曰くUGN側に付いているのは先述の「個人的且つ契約的事情」によるところが大きいらしく、場合によってはUGNの理念そのものよりも与えられた任務を遂行する為に特化した手段・戦法を優先する節もある。(例として、過去人気の少ない場所ワーディングを展開しないまま、あらかじめ仕込んでいた銃で敵の懐に潜り奇襲を仕掛けるなどしており、場合によってはグレーな奇襲戦、暗殺紛いの任務を得意としている。)

自身の持つ能力については「地味でよかった」と評しており、一見非能力者のような戦闘の様相を見せるが、味方を伴う集団戦ではモルフェウスの特徴のひとつ